

治山工事特記仕様書【水平打継】

治山ダムにおける水平打継面は、鉄筋を挿入しこれを補強するものとする。
その詳細については、以下に定めるとおりとする。

- 鉄筋は異形棒鋼(SD345)D16とする。
- 鉄筋1本あたりの延長は1640mm以上とし、下図を参考に加工を行い、上下部定着長を確保する。(図)
- 下部リフトにおいては、定着長を確保するため、袖端部においては70cm以上のコンクリート厚を確保できる区間に施工する。(図)
- 水平打継面1m²あたり1.87本以上設置するものとし、一定間隔かつ千鳥状に配置する。
また、上下流のコンクリート端部から30cm以上離して設置する。(図)
- 放水路鏡面において鉄筋のかぶりが不足しないよう放水路下幅から1m以上離して設置する。(図)
- 受注者は鉄筋の配置位置を決定した段階で図面等にて監督員に明示し、承認を受けるものとする。
- 鉄筋の強度低下等を防止するため、型枠支持のための鉄筋アンカー等、他への利用はしてはならない。
- 挿筋は、コンクリートとの付着性が損なわれないように十分注意し、転倒、移動及び変形しないよう施工する。
- なお、施工においてこれにより難しい場合は、監督員と協議すること。

